

「選挙人名簿管理システム等標準化検討会ワーキングチーム（WT）」
第3回議事概要

日時：令和3年7月19日（月）10：00～11：15

場所：WEB開催

出席者（敬称略）：

（構成員）

小島 勇人	一般社団法人選挙制度実務研究会 代表理事
三浦 雄二	全国市区選挙管理委員会連合会 事務局長
田畑 裕紀	札幌市選挙管理委員会事務局 選挙係長
久保 正義	広島市選挙管理委員会事務局 選挙課長
栗原 拓郎	前橋市選挙管理委員会事務局 主任
江森 涉	船橋市選挙管理委員会事務局 選挙係長
中山 善之	日野市選挙管理委員会事務局
木之瀬 義孝	甲府市選挙管理委員会事務局 選挙係長
若杉 泰之	富士市総務部 情報政策課 総括主幹
岩田 朋子	南国市選挙管理委員会事務局 主査
本山 政志	埼玉県町村会情報システム共同化推進室 室長
吉本 明平	一般財団法人 全国地域情報化推進協会（APPLIC） 企画部 担当部長
三木 浩平	内閣官房情報通信技術総合戦略室 政府CIO 補佐官

大竹 芳弘 構成員は欠席。

（総務省）

友井 泰範	総務省自治行政局選挙部 選挙課 理事官
中川 航輔	総務省自治行政局選挙部 選挙課 係長
福井 隆士	総務省自治行政局選挙部 選挙課 事務官
若林 拓	総務省自治行政局選挙部 管理課 課長補佐
河野 祐二	総務省自治行政局選挙部 管理課 係長
船岡 悠太	総務省自治行政局選挙部 管理課 係長
柿原 翔吾	総務省自治行政局選挙部 管理課 事務官
田邊 佳菜	総務省自治行政局選挙部 管理課 事務官
平元 彩音	総務省自治行政局選挙部 管理課 事務官

【議事次第】

1. 論点の検討
2. その他

【意見交換（概要）】**■ 当日用名簿抄本の作成について**

- 当日用名簿抄本データの頒布をネットワーク経由で実施することが考えられるが、この場合、当日投票の受付を従来どおりオフラインで実施することも前提に、標準仕様書案を作成するとの認識にて相違ないか。
→そのとおり。
- 以前、共通投票所の実現方式を検討した際の報告では、有線回線での接続に加えて閉域網を前提とした無線回線での接続も可能との整理がなされている。ネットワークによる当日用名簿抄本データの頒布の検討にあたっては参考としてもらいたい。
- 当日用名簿抄本の出力日の標準化について、当市の出力総数は18,000頁に及び、すべての出力に3~4時間程度を要するため、投票日前日の期日前投票の終了後に出力作業を実施することは困難と考える。
- 当市では、投票日前日の期日前投票終了後に出力作業を実施し、1時間半~2時間を要している。
- 当日投票管理システム端末のデータ締め日時点の名簿情報を当日用名簿抄本として出力した上で、締め日以降の期日前投票情報及び異動情報を追録として出力し、各投票所へ頒布している。
- 投票日2日前の期日前投票終了後に当日用名簿抄本の出力を実施している。なお、当日投票管理システムの端末には投票日前日の期日前投票終了時点の最新データをインストールしている。
→各自治体において、出力のタイミングや方法は様々であることを踏まえた標準化案としたい。

■ 出国時申請について

- 選挙人名簿管理システムと在外選挙管理システムを連携した上で、在外選挙管理システムから出国時申請による在外選挙人名簿登録情報を連携し、選挙人名簿上で抹消処理ができる形態が望ましいと考える。
→ご意見を踏まえて改めて検討。

■ 異動制御について

- いわゆる無戸籍児となっていた者の取り扱いについては、都道府県からの通知に基づき、対応を実施しており、移動制御の対象とならないか。
→対応の必要ない自治体もあることを踏まえて検討。

■ 不在者投票施設登録について

- 施設情報として、住所や施設名等に加えて、郵便番号や電話番号、メールアドレスを追加し、通知等の宛名ラベル作成及び施設への問い合わせに使用できるようにしてはどうか。
→不在者投票施設への投票用紙送付時に必要となる郵便番号を追加する。電話番号等は必要性が高くないと思われ、不要とする。
- 不在者投票施設情報の管理項目に不在者投票施設ごとの請求者の集計等に利用する施設IDや管理番号を用いることも考えられる。

